

○福岡県田川地区消防組合消防吏員服制規則

〔平成 2 年 11 月 15 日〕
規 則 第 2 号

改正	平成 5 年 1 月 25 日組合規則第 1 号	平成 11 年 4 月 1 日組合規則第 1 号
	平成 14 年 3 月 14 日組合規則第 2 号	平成 14 年 12 月 11 日組合規則第 8 号
	平成 19 年 3 月 27 日組合規則第 7 号	平成 21 年 7 月 21 日組合規則第 8 号
	平成 22 年 3 月 31 日組合規則第 6 号	平成 22 年 6 月 23 日組合規則第 7 号
	平成 22 年 11 月 30 日組合規則第 11 号	平成 23 年 11 月 15 日組合規則第 8 号
	平成 26 年 3 月 31 日組合規則第 3 号	平成 30 年 4 月 16 日組合規則第 3 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 16 条第 2 項の規定に基づき、福岡県田川地区消防組合消防吏員（以下「消防吏員」という。）の服制を定めるものとする。

(服制)

第 2 条 消防吏員の服制は、別表のとおりとする。

(委任)

第 3 条 この規則の施行に関し必要な事項は、消防長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 5 年組合規則第 1 号）

この規則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 11 年組合規則第 1 号）

(施行期日)

1 この規則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に着用している作業服、防寒着（2 種）及びバンドについては、改正後の福岡県田川地区消防組合消防吏員服制規則第 2 条の規定にかかわらず、この規則の施行の日から 2 年間は着用することができる。

附 則（平成 14 年組合規則第 2 号）

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に着用している夏服及び活動服については、改正後の福岡県田川地区消防組合消防吏員服制規則第 2 条の規定にかかわらず、当分の間着用することができる。

附 則（平成 14 年組合規則第 8 号）

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の際、現に保安帽に付着しているしころについては、改正後の福岡県田川地区消防組合消防吏員服制規則第 2 条の規定にかかわらず、この規則の施行の日から、当分の間、付着することができる。

附 則 (平成 19 年組合規則第 7 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 21 年組合規則第 8 号)

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の際、現に着用している救助服については、改正後の福岡県田川地区消防組合消防吏員服制規則第 2 条の規定にかかわらず、当分の間着用することができる。

附 則

この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の際、現に着用している雨衣については、改正後の福岡県田川地区消防組合消防吏員服制規則第 2 条の規定にかかわらず、当分の間着用することができる。

附 則 (平成 26 年組合規則第 3 号)

この規則は、公布の日から施行し、平成 26 年 10 月 1 日から適用する。

附 則 (平成 30 年組合規則第 3 号)

この規則は、公布の日から施行する。

別表（第2条関係）

冬 帽	色		濃紺
	製 式	男 性	円形とし、前ひさし及びあごひもは、黒色とする。 あごひもの両端は帽の両側において金色金属製消防章各1個でとめる。 形状は図のとおりとする。
		女 性	円形つば型とし、帽のまわりに濃紺又はその類似色のリボンを巻くものとする。 形状は図のとおりとする。
	き	章	銀色金属製消防章をモール製金色桜で包擁する。 台地は濃紺とする。 形状及び寸法は、図のとおりとする。
	周	章	男性については、帽の腰まわりには、黒色のなな子織を巻き消防司令以上の場合には、じや腹組金線及びじや腹組黒色線を、消防司令補の場合には、じや腹組黒色線を巻くものとする。 形状及び寸法は、図のとおりとする。
夏 帽	色		紺
	製 式	男 性	円形とし、前ひさし及びあごひもは、紺又はその類似色とする。 あごひもの両端は、帽の両側において金色金属製消防章各1個でとめる。 天井の両側にはと目をつけ通風口とする。 腰は、藤づるあみとし、すべり革には、所要の通風口をつける。 天井の内側には、汚損よけをつける。 形状は冬帽と同様とする。
		女 性	冬帽と同様とする。
	き	章	冬帽と同様とする。ただし、台地は紺とする。
	周	章	男性については、帽のまわりに、紺又はその類似色のなな子織を巻くものとする。
略 帽	色又は地質		青色の合成繊維又は綿混紡の織物
	製 式		前ひさしは、地質と同じものとし、月桂樹の刺しゅうをする。 夏用は一部メツシュ仕立てとする。 形状及び寸法は、図のとおりとする。
	き		刺しゅう製のき章とする。 形状は、図のとおりとする。
防 火 帽	保 安 帽	色又は地質	銀色で、労働安全衛生法に基づく保安帽の基準に適合するもの。
		製 式	かぶと型とし、内側に衝撃吸収ライナー、ヘッドバンドなどの装着体及び可動式の顔面保護板を取付け、帽体下部の外周部にしころを取付けられるものとする。 形状は図のとおりとする。
		き 章	シール式のき章とする。
		周 章	帽の腰まわりに1条ないし3条の赤の反射線をつける。 寸法は、図のとおりとする。
	し こ ろ	色又は地質	紺色の耐熱性防火布

		製 式	<p>取付け用ドット釦付とし、保安帽に付着させるものとする。 しころ後部中央に所属章を取付けるための面ファスナーを取付ける。</p>	
冬 救 急 帽	色又は地質		暗い灰色で、ポリエステルと羊毛との混紡糸を使用したサクソニー	
	製 式		<p>前ひさは地質と同じものとし、その表を白の反射テープで覆う。 あごひもは、灰色のビニール製とし、その両端は、帽の両側において銀色金属製消防章各 1 個でとめる。 形状及び寸法は、図のとおりとする。</p>	
	き 章		<p>金色ししゅう製消防章とする。台地は黒とする。 形状及び寸法は、図のとおりとする。</p>	
	周 章		<p>帽のまわりに 1 条ないし 3 条の白のレーヨン製あや竹リボンを巻くものとする。 寸法は、図のとおりとする。</p>	
盛 夏 救 急 帽	色又は地質		暗い灰色で、ポリエステルと羊毛との混紡糸を使用した霜降りトロピカル	
	製 式		冬救急帽と同様とする。	
	き 章		冬救急帽と同様とする。	
	周 章		冬救急帽と同様とする。	
救 助 帽	色又は地質		略帽と同様とする。	
	製 式		略帽と同様とする。	
	き 章		略帽と同様とする。	
冬 服	上 衣	色		冬帽と同様とする。
		製 面	前 男性	<p>折りえり 胸部は 2 重とし、消防章をつけた金色金属製ボタン各 3 個を 2 行につける。 形状は、図のとおりとする。</p>
			女性	打合わせを右上前とするほかは、男性と同様とする。
		そ で 章		<p>黒色しま織線 1 条に消防司令補以上はじや腹組金線 1 条を消防士長はじや腹組銀線 1 条を表半面にまとい、その下部に消防司令以上の場合には、金色金属製消防章をつける。 形状及び寸法は、図のとおりとする。</p>
		え り 章		左えりに福岡県田川地区消防組合徽章をつける。
	下 衣	色		上衣と同様とする。
		製 式	男 性	<p>長ズボンとする。 形状は、図のとおりとする。</p>
			女 性	<p>長ズボン、スカート又はキュロットスカートとする。 形状は、図のとおりとする。</p>
	夏 服	上 衣	色	淡青

	製式	前	男性	シャツカラーの長そで又は半そでとする。 淡青又はその類似色のボタンを1行につける。 形状は、図のとおりとする。
			女性	打合わせを右上前とするほかは、男性と同様とする。
		肩章		外側の端を肩の縫目に縫い込み、えり側を淡青又は類似色のボタン1個でとめる。
		えり章		冬服と同様とする。
	下衣	色		夏帽と同様とする。
		製式	冬服下衣と同様とする。	
活動服	上衣	色		略帽と同様とし、えり、肩及び背面上部（図中網掛け部分）にオレンジ色を配する。
		製式		長そでとし、背面上部に消防本部名を表示する。 用途に応じ、通気性、難燃性、強度、帯電・静電防止等の機能性に配慮する。 形状は、図のとおりとする。
		肩章		夏服と同様とする。
		そで		長そででファスナーどめとする。
	ズボン	色		上衣と同様とする。
		製式		長ズボンとし、用途に応じ、通気性、難燃性、強度、帯電・静電防止等の機能性に配慮する。 形状は、図のとおりとする。
冬救急服	上衣	色又は地質		明るい青みの灰色で、表面はポリエステルを、裏面はポリエステルと綿との混紡糸を使用したピッケ
		製式	前	台えり付シャツカラーの長そでとし、ウエストラインにタックを入れる。 比翼仕立てとし、胸部左右に各1個、左肩下に1個のポケットをつけ、胸部左右ポケットにはふたをつける。 えりに、ポリエステルと綿との混紡糸を使用した白のブロードの替えりをつける。
			面	胸部左のポケット上部に、地質と同じ台地に消防本部名を濃い灰色糸で刺しゅうした刺しゅうネームを縫いつける。 形状は、図のとおりとする。
		肩章		外側の端を肩の縫目に縫い込み、白の反射テープの肩章カバーを差し込むとともに、えり側を地質と類似色のボタン1個でとめる。
	ズボン	色又は地質		冬救急帽と同様とする。
		製式		長めのタックを入れた長ズボンとし、両もも及び左右後方に各1個のポケットをつける。左右後方のポケットはボックスプリーツ上切替え仕立てとする。 形状は、図のとおりとする。

盛夏救急服	上衣	色又は地質	明るい黄みの灰色で、ポリエステルを使用したピンホールトロピカル
		製式	長そで又は半そでとし、その他は、冬救急服上衣と同様とする。ただし、半そでの場合は、左肩下のポケットをつけないものとする。形状は、図のとおりとし、図中 2 重斜線部分はスリット空き、背裏メッシュ仕立てとする。
	ズボン	色又は地質	盛夏救急帽と同様とする。
		製式	冬救急服ズボンと同様とする。
救助服	上衣	色又は地質	オレンジ色で難燃性のものとする。
		製式	開きんの長そでとし、胸部左右に各 1 個のポケットをつける。背面上部に消防本部名を表示する。形状は、図のとおりとし、図中 2 重斜線の部分は当て地とする。
	ズボン	色又は地質	上衣と同様とする。
		製式	長ズボンとし、両ももの側面に各 1 個のポケットをつける。形状は、図のとおりとし、図中 2 重斜線の部分は当て地とする。
防火衣	色又は地質		防火帽しころと同様とする。
	製式		ハーフコート型上衣とサスペンダー付下衣で構成され、上衣及び下衣は、いずれも外衣と着脱可能な内衣の多層構造のスーツ式とする。形状は図のとおりとする。
防寒衣（1 種）	色又は地質		濃紺の合成繊維又は綿混紡の織物
	製式		えりは、ボアー取り付け式とし、チャック又はかくしボタン止めとする。 胴には、バンドをつける。ポケットは、胸左右及び腰部前面左右に各 1 個をつける。 裏地は、キルティング加工とする。形状及び寸法は、図のとおり。
防寒衣（2 種）	色又は地質		濃紺のポリエステル防水生地
	製式		ブルゾン型とし、チャック及びロットボタン止めとする。 袖口は、カフス付きロットボタン止めとし、裾は、ゴム入りとする。 ポケットは、腰部左右斜めに各 1 個をつける。 裏地は、キルティング加工とする。 形状及び寸法は、図のとおりとする。
雨衣	上衣	色又は地質	オレンジ色で難燃性、耐薬品性、制電性のものとする。
		製式	折りえり及びフード付とする。 そで口をゴムで絞る。 前面の内側はファスナー、外側は地質と類似色のホックをつける。 反射布を前面、後面及びそで口につける。 ポケットは、左右側腹部に各 1 個つけ、雨ぶたをつける。 背面上部に消防本部名を表示する。 収納袋付きとする。 形状は、図のとおりとする。

	ズボン	色又は地質	上衣と同様とする。
		製式	長ズボンとし、腰はゴムで絞り、すそ口に反射布をつけ、止めホックをつける。
安全帽	色又は地質		白の強化合成樹脂又は堅ろうな材質
	製式		ヘリ部全周には、黒色ゴム製緩衝体を接着、ハンモックは強力なテープを使用し、あごひもは黒色合成繊維とする。 形状は、図のとおりとする。
	き章		銀色シール式消防章とする。 形状及び寸法は、図のとおりとする。
	周章		帽の腰まわりに、2 条の銀色の反射線をつける。 寸法は、図のとおりとする。 階級周章は、帽の後部に 1 条ないし 3 条、長さ 4 センチメートルの赤の反射線をつける。寸法は、保安帽の階級周章のとおりとする。
救急白衣	色又は地質		白の合成維持
	製式		開襟（小開き式）、長そでベルト付とする。 前面は、ファスナーとし、胸部及び側腹部左右に各 1 個ポケットをつけ、胸部ポケットにはふたをつける。 ベルト及び両そで口に銀色反射布をつける。 後面は、すそを裂くものとする。 形状は、図のとおりとする。
救急雨衣	上衣	色又は地質	白の防水性合成繊維
		製式	たてえり、ラグランそでとする。 前面は、ホックとめとする。 ポケットは、左右側腹部に各 1 個をつけ、ふたをつける。 形状は、図のとおりとする。
	ズボン	色又は地質	上衣と同様とする。
		製式	雨衣と同様とする。
調査衣	色又は地質		紺色の合成繊維
	製式		開襟（小開き）、長そでカウス付ボタンどめとする。 前面は、地質と類似色のボタン 5 個を 1 行につけ、かくしボタンとする。 肩章は、夏服と同様とする。 ポケットは、胸部及び側腹部に左右各 1 個とし、ふたをつける。 腰部をゴムでしぼる。 形状は、図のとおりとする。
ワイシャツ			白
ネクタイ			紺にオレンジ色のストライプ入りの織物
手袋			白（訓練時は革製）

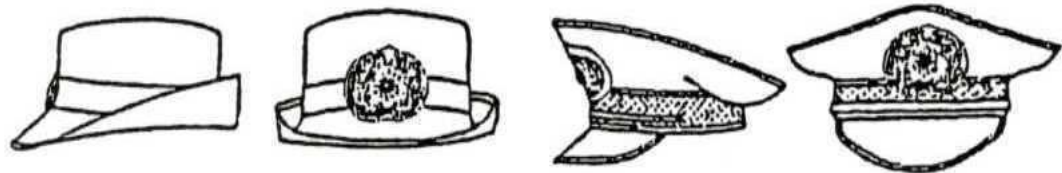
階 級 章	<p>冬服及び夏服用の台地は黒色とし、上下両縁に金線刺しゅう状を施し、中央に平織り金線及び銀色消防章をつける。</p> <p>活動服、救急服、救助服の台地は黒色とし、上下両縁及び中央に金線刺しゅう状を施し、中央の消防章は銀色刺しゅうとする。</p> <p>階級章は、右胸部につける。ただし、消防長の職にある者は、これをつけないことができる。</p> <p>形状及び寸法は、図のとおりとする。</p>
消 防 長 章	<p>銀色の台地とし、金色線 3 条及び黒色線 2 条を配し、中央に、銀色の桜葉及び銀みがきの桜花で囲んだはめ込みの金色消防章を配する。消防長章は、階級章の上部につける。</p> <p>形状及び寸法は、図のとおりとする。</p>
バ ン ド	<p>冬服、夏服用は、前金具（銀色）の中央部に消防章をつける。</p> <p>活動服（青）、救助服（オレンジ）及び救急服（白）用は前金具（銀色）は 2 穴用とする。</p> <p>形状は図のとおりとする。</p>
エ ン ブ レ ム	<p>合成繊維又は綿混紡の織物とし、活動服、救急服、救助服の右肩の縫目より 8 センチメートル下にマジックテープでつける。</p>
背 マ ー ク	<p>防寒着（2 種）の背中につける。</p>
靴	<p>黒革の短靴とする。ただし、防火用は銀色又は黒のゴム製長靴（踏抜き防止鋼板をそう入する。）、救急用は黒革の短靴又は必要に応じ、黒のゴム製長靴、救助用は黒の編上式半長靴とする。</p>
消 防 手 帳	<p>表紙は、黒色の革製又はこれに類似するものとする。</p> <p>中央上部に消防章を、その下に消防本部名を、それぞれ金色で表示し、背部に鉛筆差しを設け、その下端に長さ 45 センチメートルの黒色ひもをつけ、表紙内側には、名刺入れをつける。</p>

図（数字は、寸法を示し、その単位は、ミリメートルとする。）

冬 帽

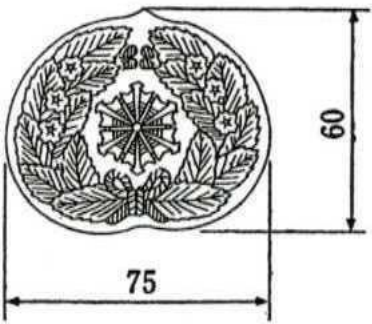
女 性

男 性



さ 章

消防章

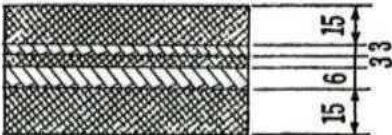


あごひも留め
消 防 章

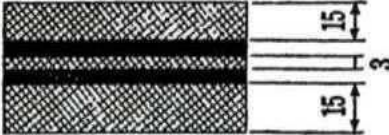


周 章

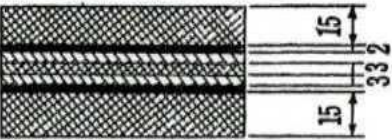
消防正監
消 防 監



消防司令補



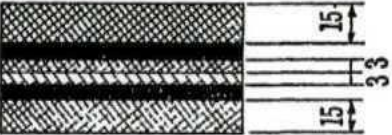
消防司令長



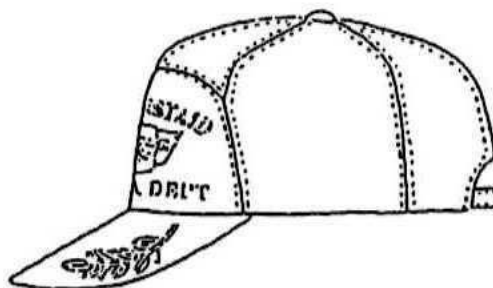
消 防 士 長
消防副士長
消 防 士



消防司令



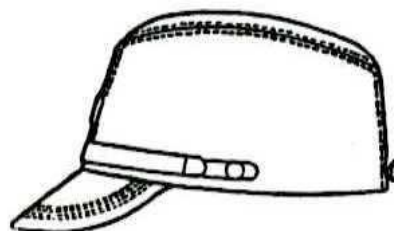
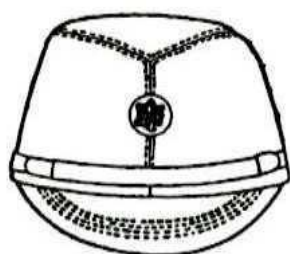
略 帽



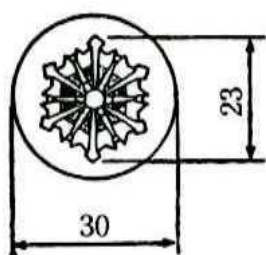
き 章



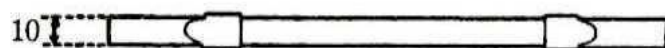
救 急 帽








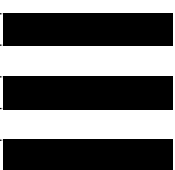
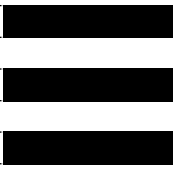
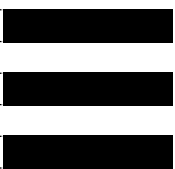
き 章



あ ご ひ も



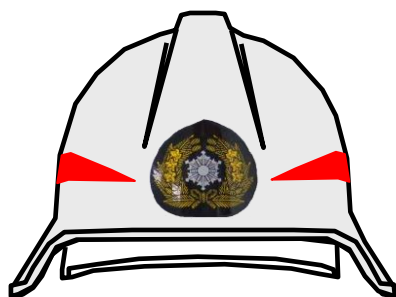
保安帽及び救急帽につける階級周章

階 級	保安帽	救急帽	
消 防 士	4	4	
消防副士長	2 4 4	3 3 4	
消 防 士 長	4 4 4	4 3 4	
消防司令補	4 4 8	4 3 6	
消 防 司 令	8 4 8	6 3 6	
消防司令長	8 4 4 4 8	6 3 4 3 6	
消 防 監	8 4 8 4 8	6 3 6 3 6	
消 防 正 監	8 3 8 3 15	6 3 6 3 8	

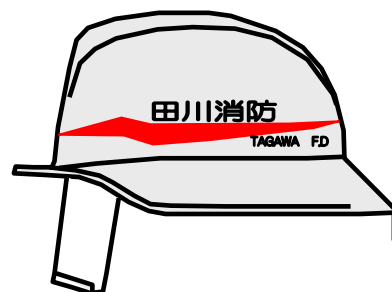
防 火 帽

保 安 帽

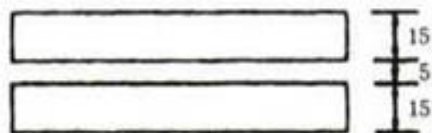
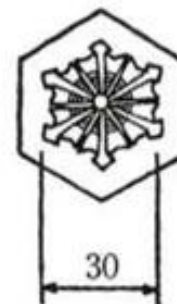
正 面



側 面

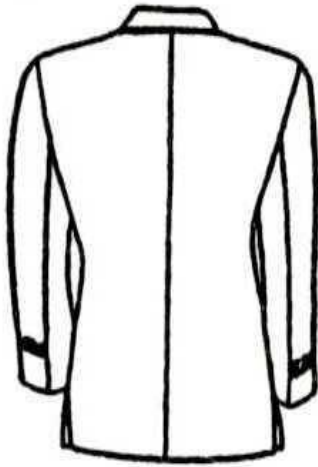


安 全 帽



冬 服

後 面



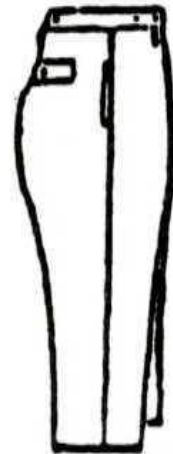
前 面



スカート



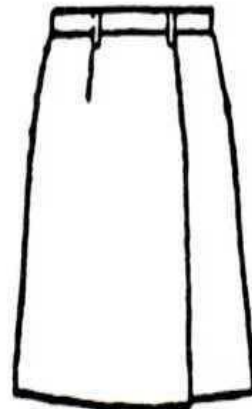
ズボン



ボタン

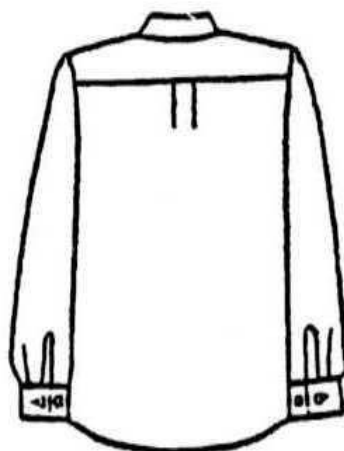


キュロット
スカート

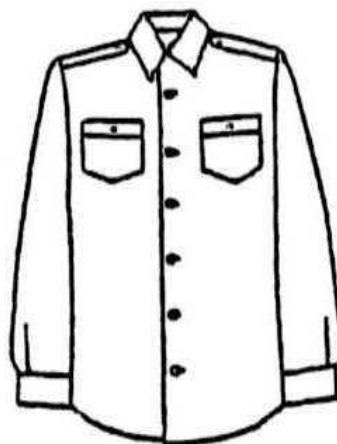


夏 服

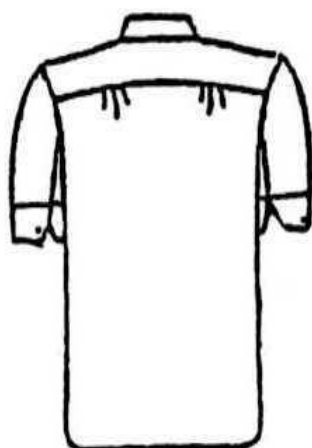
後 面



前 面



後 面



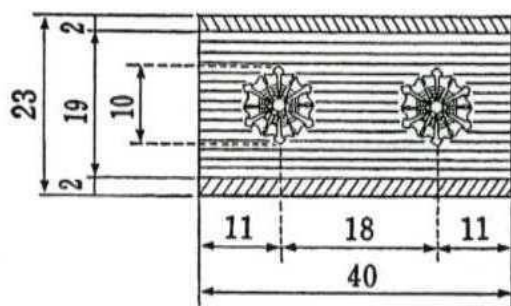
前 面



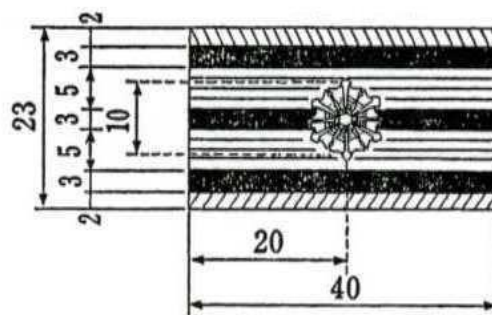
ズボン



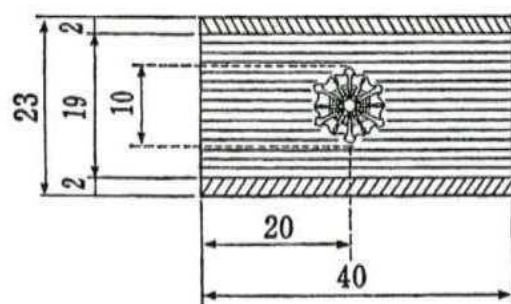
消防正監



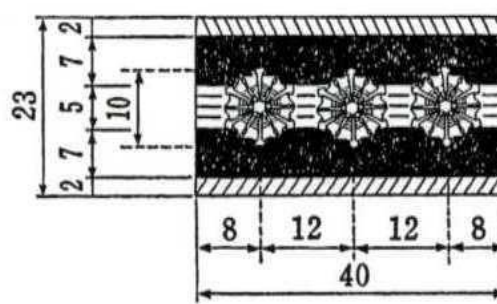
消防司令補



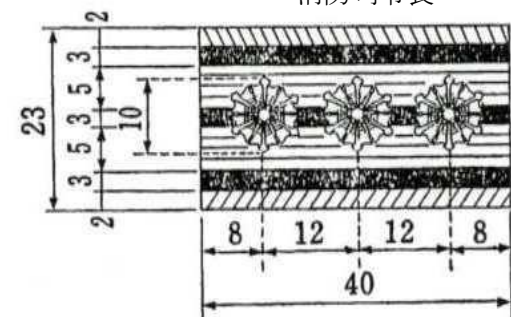
消防監



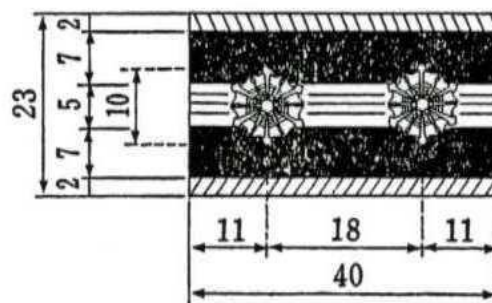
消防士長



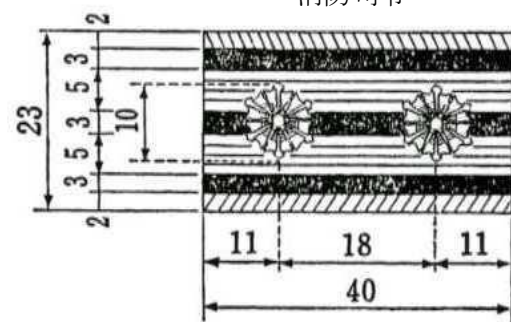
消防司令長



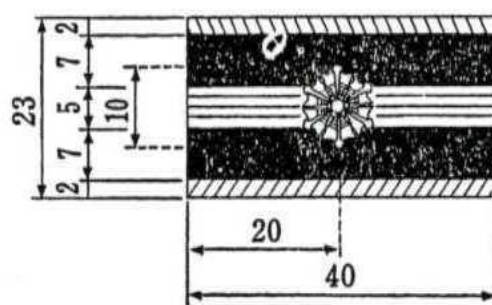
消防副士長



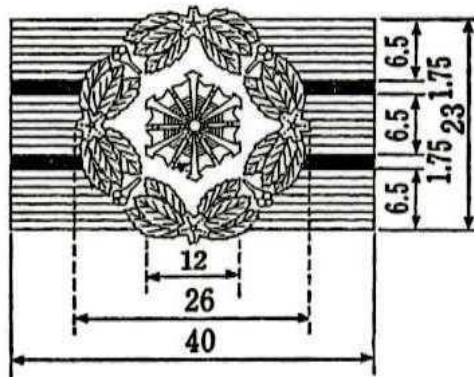
消防司令



消防士

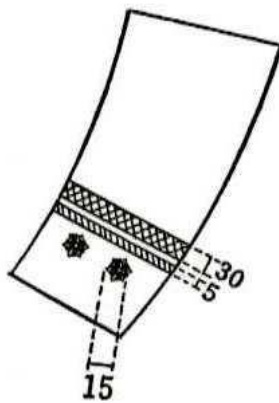


消防長章

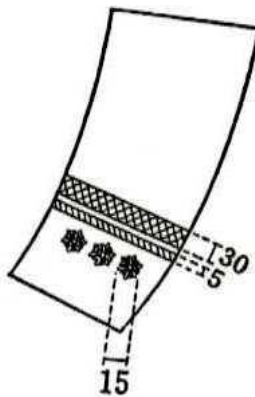


上衣そで章

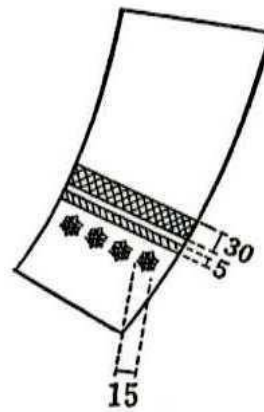
消防司令長



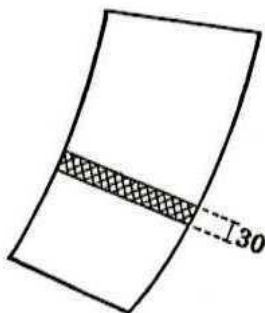
消防監



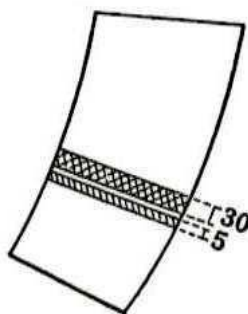
消防正監



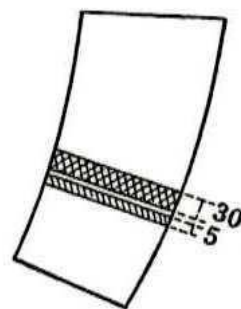
消防副士長
消 防 士



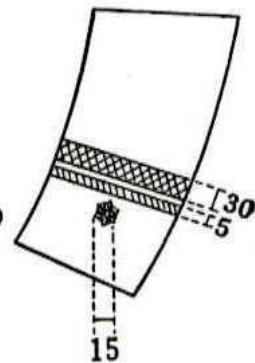
消防士長



消防司令補



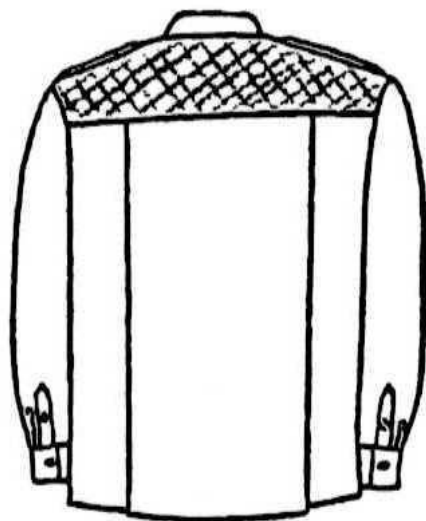
消防司令



活 動 服

上 衣

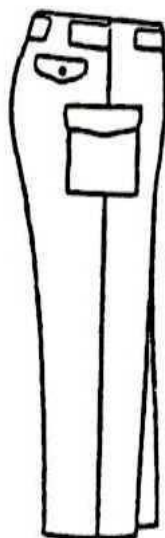
後 面



前 面



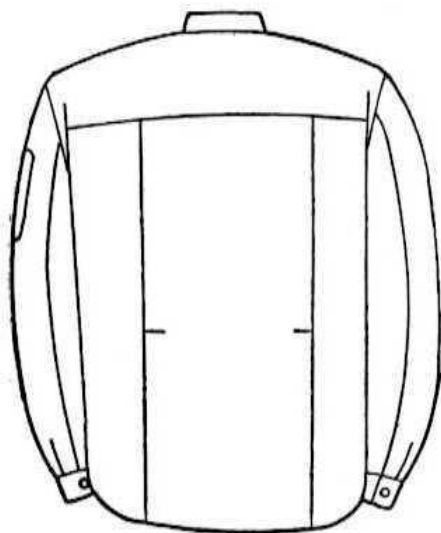
ズボン



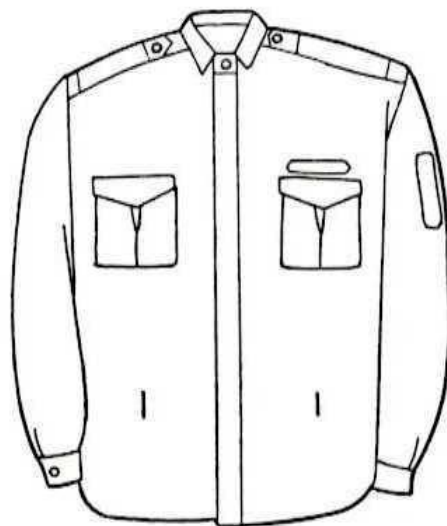
冬 救 急 服

上 衣

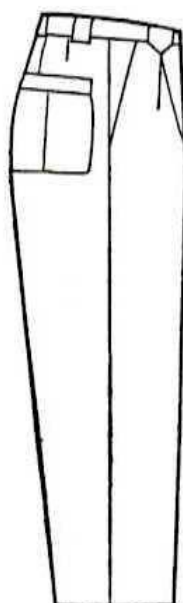
後 面



前 面



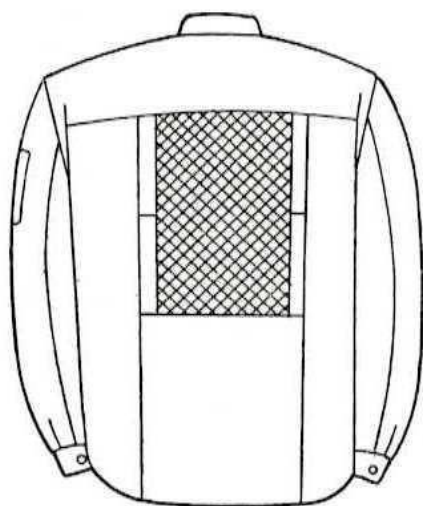
ズボン



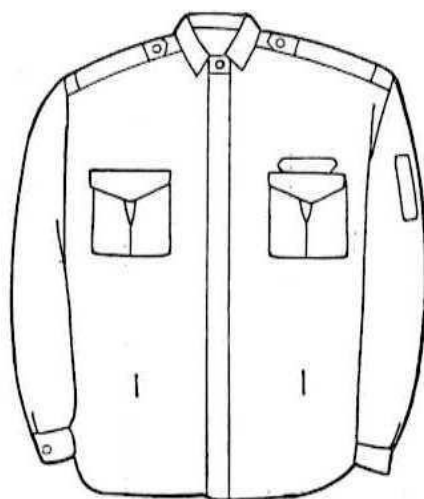
盛 夏 救 急 服

上 衣

後 面

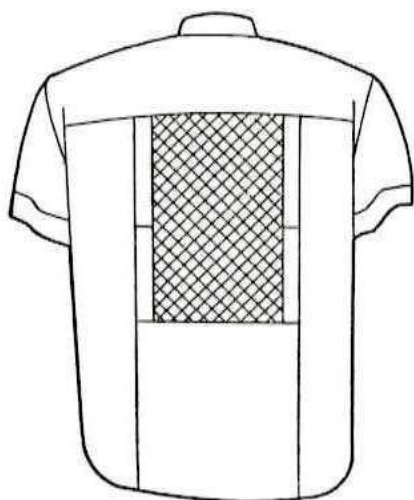


前 面

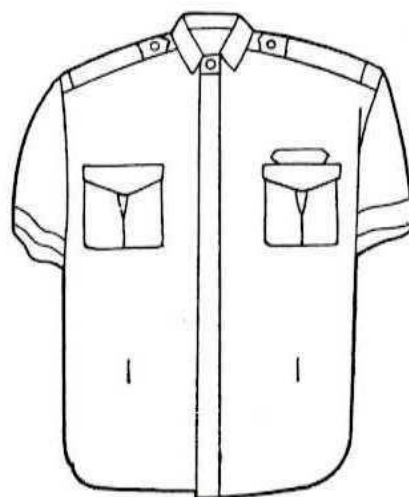


上 衣

後 面



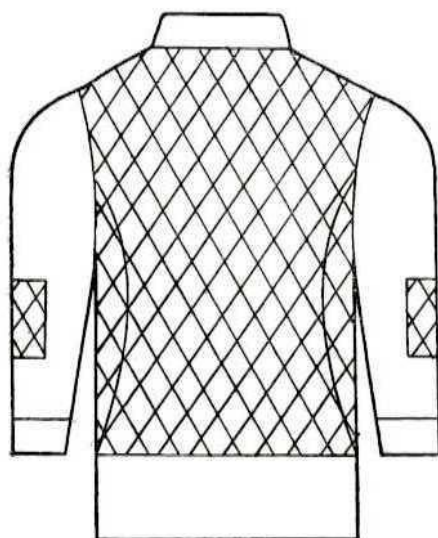
前 面



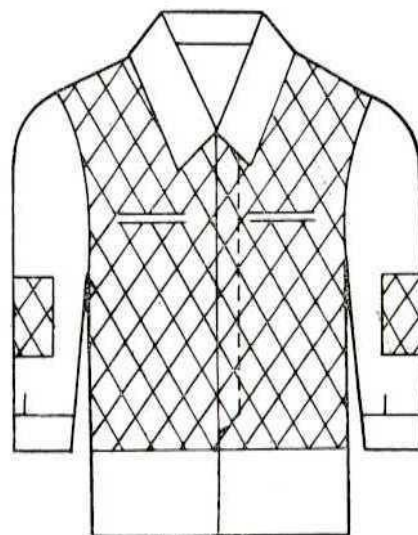
救 助 服

上 衣

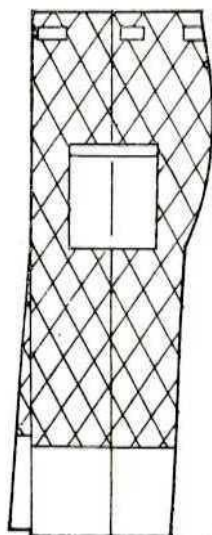
後 面



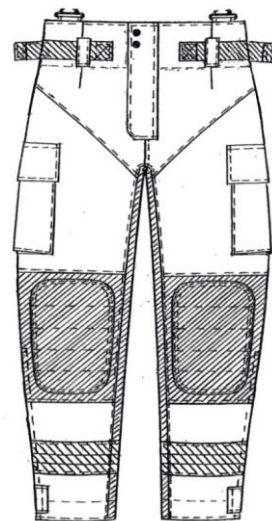
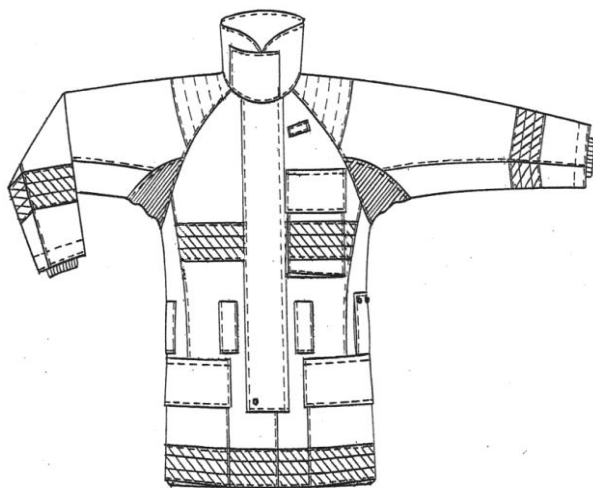
前 面



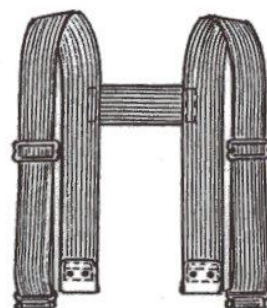
ズボン



防 火 衣

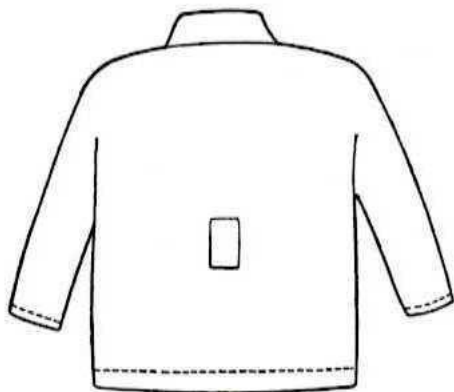


サスペンダー



防寒衣（１種）

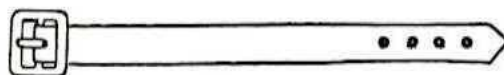
後 面



前 面

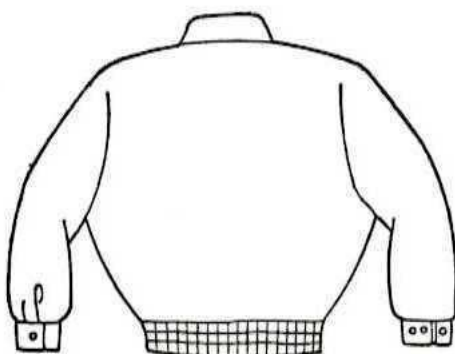


田川地区消防本部



防寒衣（２種）

後 面

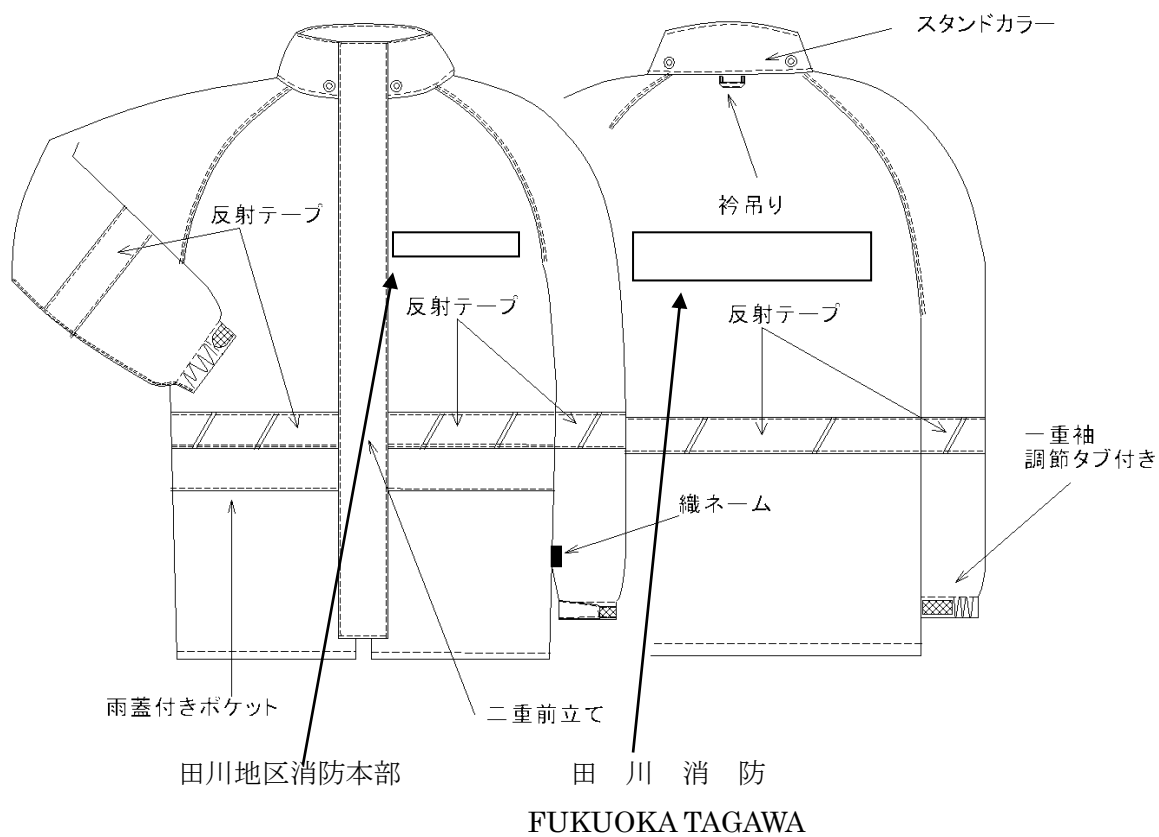


前 面

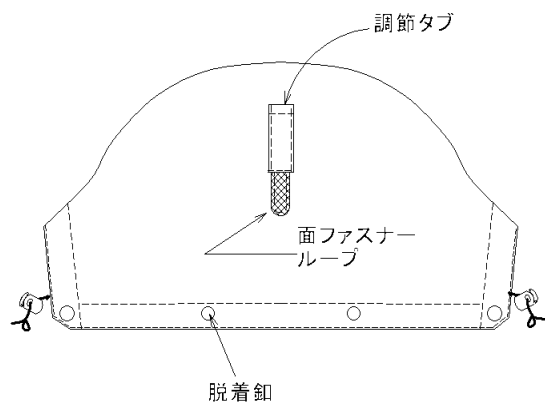


雨 衣

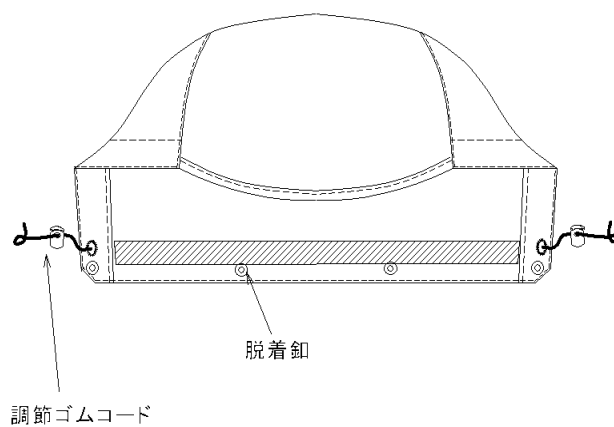
上衣全体図



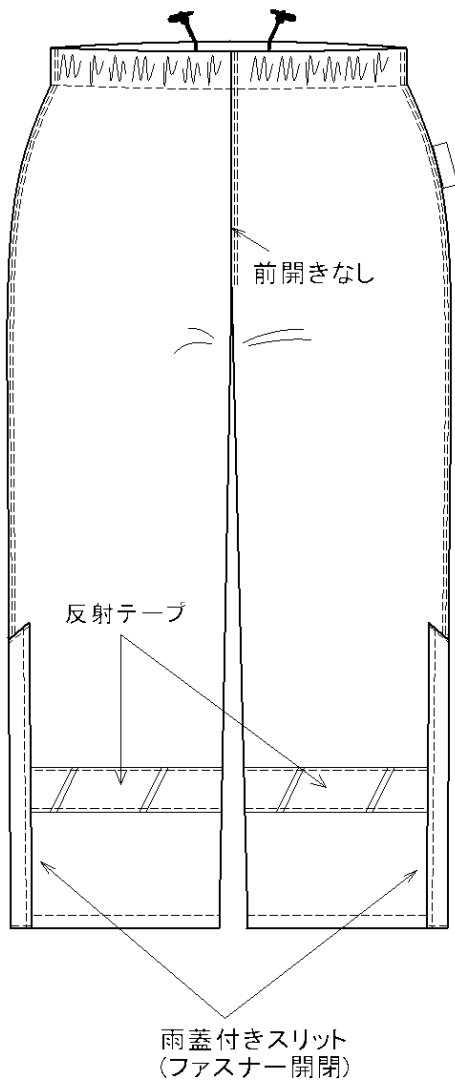
●フード後



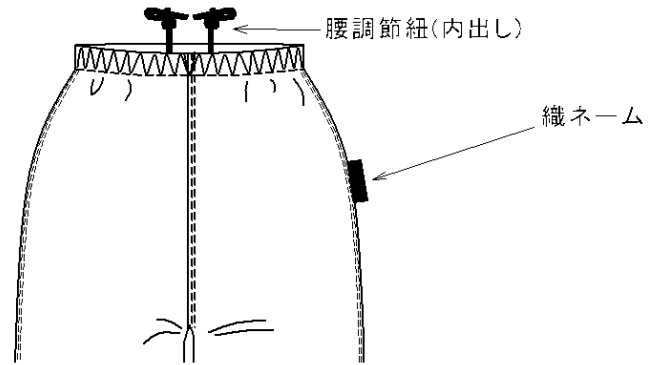
●フード前



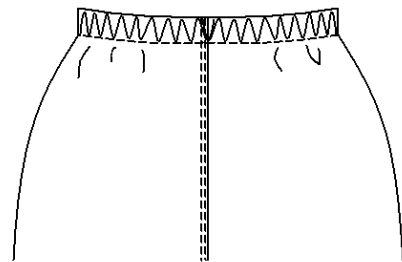
下衣全体図



● ウエスト前

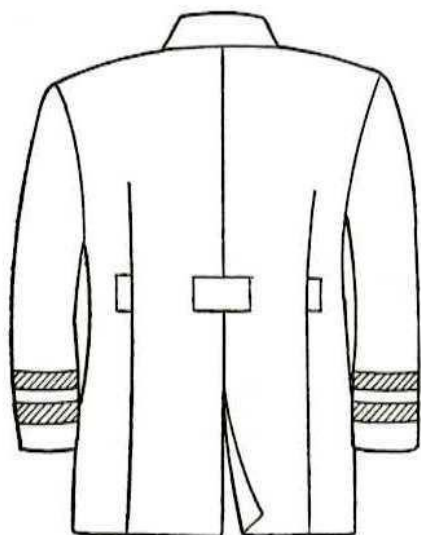


● ウエスト後

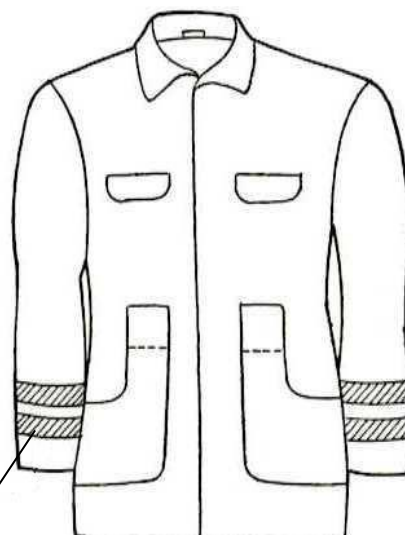


救 急 白 衣

後 面



前 面



銀色反射布

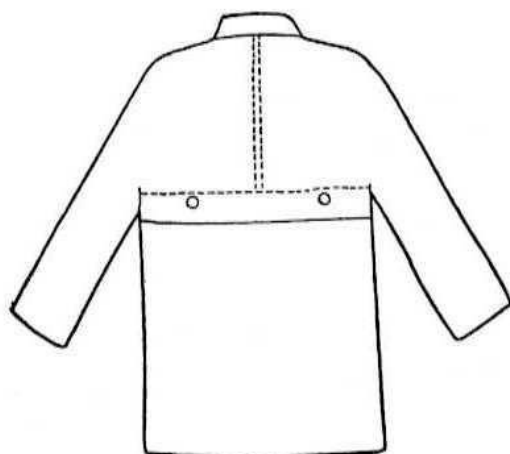


銀色反射布

救 急 雨 衣

上 衣

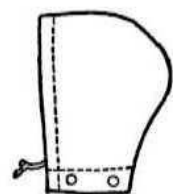
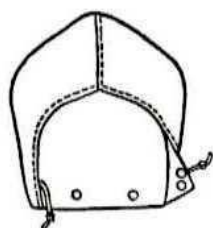
後 面



前 面

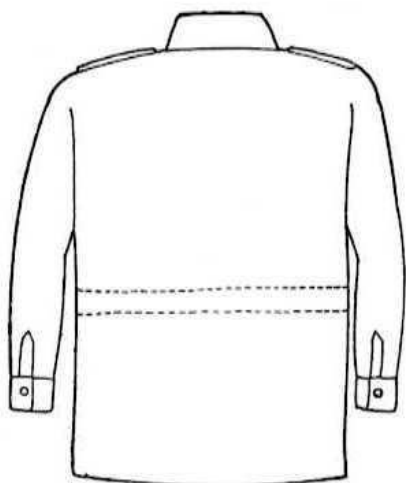


頭きん



調 査 服

後 面

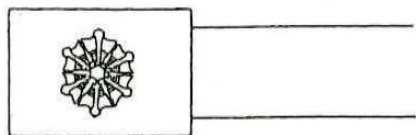


前 面

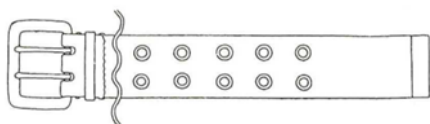


バ ン ド

冬服、盛夏服用

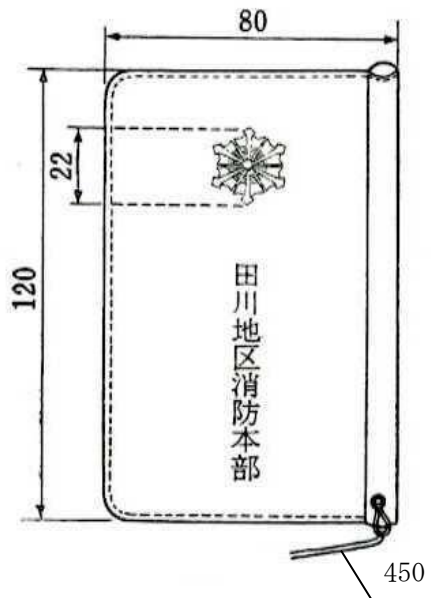


活動服（青）、救助服（オレンジ）及び救急服（白）用



消 防 手 帳

表 紙



(表)

表扉第一表

(裏)

年 月 日 貸与第 号

所属
階級
氏名

この証は、消防法第4条第4項、第16条の5第3項及び第34条第2項の規定により立入検査を行なう消防職員が携帯する。

1 検査の際は、この証を提示すること。

2 この証は、検査以外に使用しないこと。

3 この証は、本人以外の者に貸与又は使用させてはならない。

										配置年月日
										勤務部署
										所属長印

